

あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業・地区別授業研修について

平成30年11月13日（火）

津島東高等学校

10月23日（火）に本校で行った「地区別授業研修」に引き続き、津島市内の小中学校の先生方と、尾西地区の県立学校の英語を担当している先生方で、合同の「地区別授業研修」を、11月13日（火）の13時から津島東高等学校で行いました。

前回と同様、小中高の英語教育の連携に造詣が深い、愛知県立大学の池田周先生に御講演いただきました。

最初に、津島東高等学校の稲守陽子教諭による英語の授業実践を参観しました。授業はコミュニケーション英語Ⅱにおいて、音読とライティングを中心としたアクティビティで進められました。

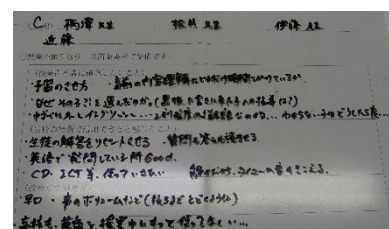
その後、授業参観の振り返りをグループで行いました。授業の指導者に対して、多くの御意見や質問をいただき、授業を担当された稲守先生が回答されました。

例：「コミュニケーション英語の指導で先生が大切にしていることは何か。」

「いろいろな音読の方法があったが、それぞれどのような意味づけをして取り組ませているのか」
「オレンジ色のチョークを使った訂正は、生徒にとって威圧感が軽減されてよい。ぜひ自分も使用したい。」など



前回と同様、最後に講師の池田先生から御指導いただきました。先生からは「外国語教育を通して育成する資質・能力—全国学力・学習状況調査と大学入学共通テスト—」というタイトルで御講演いただきました。小中高の学びの履歴の共有が今後大切になってくることや中学校の英語の授業における「目的・場面・状況」の設定の事例を具体的に挙げていただきました。



本年度の小中高連携の事業はこれが最後になります。しかし、池田先生のお話にもあったように、地域の小中高が児童生徒の学びの履歴を共有し、お互いの取組が有機的につながるように今後も協力していく必要があると強く感じる事ができた研修になりました。

